

研修会報告

令和7年3月4日

文責：浅野陽子

研修会テーマ「輸血と細胞治療」

開催日時 令和7年2月18日（火） 18:00～19:00

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 浅野陽子

生涯教育点数 専門教科 20点

参加者 会員参加者 17名 入会申請中会員 0名 非会員 1名 賛助会員 0名 学生 0名
合計 18名

講演 1

【のぞいてみよう！細胞治療の現場】

講師：東北大学病院 輸血・細胞治療部 阿部真知子技師

講演 2

【血液製剤の安全対策】

講師：宮城県赤十字血液センター 学術情報・供給課 上領章久先生

19:00 終了

内容

今回の輸血検査部門研修会はテーマ「輸血と細胞治療」で開催した。

講演1では【のぞいてみよう！細胞治療の現場】というタイトルで東北大学病院 輸血・細胞治療部 阿部真知子技師が講演された。限られた施設でしか行われていない細胞治療について写真や動画を交えて説明された。造血幹細胞移植や再生医療など、日常業務では知り得ない臨床検査技師の仕事を学ぶことができた。

講演2では【血液製剤の安全対策】というタイトルで宮城県赤十字血液センター 学術情報・供給課 上領章久先生が講演された。血液センターで行われている輸血用血液製剤の安全対策と医療機関に求められている安全対策について説明された。血液製剤が製品としてできあがるまでには何重にも安全対策が講じられており、それを扱う医療機関側でも安全対策を講じることで安心安全な輸血が行われているということを再確認できた。

輸血も細胞治療も安全対策は非常に重要であり、様々な立場で対策を講じていることが理解できた。日常業務だけでは知り得ないことを学べた研修会であった。

今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。